

## 君たちは どう生きるか

校長 大瀧 訓久

夏休みが終了し、今日から学校が再開されます。夏休み前にお願いした“3つの落とすな”を覚えていますか。「学力、落とすな」「品格、落とすな」「命、落とすな」の3つです。皆さんの姿を見て、一番大切な「命」が確認でき、ホッとしています。残りの「学力」と「品格」は、今後の皆さんの学校生活やテストなどを見て判断していきたいと思います。

今から4年前の令和元年10月、非常に強い台風19号が、関東地方を縦断し、記録的な大雨で甚大な被害をもたらしました。気象庁は12日(土)15時30分に「大雨特別警報」を静岡県、神奈川県、東京都、埼玉県、群馬県、山梨県、長野県の7都県に発表し、19時50分には茨城県、栃木県、新潟県、福島県、宮城県に、13日(日)0時40分には岩手県にも発表しました。半日で13都県での発表は、特別警報の運用を開始して以来最多の発表数となりました。後にこの台風は、気象庁から「令和元年東日本台風」と命名されます。我が足立区でも前期終業式の翌日12日(土)16時に区内全小中学校に避難所開設の指示が出されました。この時、前任校で大活躍したのが中3女子の『Iちゃん』です。前任校は全学年1～2クラスの小さな学校。全ての行事が全校生徒で準備し片付けるシステムになっていました。校舎も3階建ての小さな校舎。生徒たちは校舎の隅々まで熟知しています。ジュニアリーダーに入っていたIちゃんは日頃から地域行事やボランティア活動には積極的に参加していました。避難所開設の話聞いたIちゃんは真っ先に中学校に駆けつけます。避難者の多さを見て、学校近くに住んでいる友達に連絡を入れ集まってもらいます。また、放送委員でもあったIちゃんは、避難所運営委員の指示の元、放送室から「これから水を配ります。順番で配布しますので、まずは3階に避難した人から1階玄関近くの備蓄倉庫まで取りに来て下さい。」「使用した毛布はしっかりとたたんで、正面玄関の外に積み上げて下さい。」などの確かな指示を出し続けました。翌日校舎に駆けつけると、避難所になっていた校舎内(各教室含)は綺麗に整頓されており、トイレも掃除の後が見られました。週明け、学校に地域や自治会の皆さんから次々に連絡が入ります。「Iちゃんが・・・」「Iちゃんたちのおかげで・・・」「Iちゃんたちがいなかったら・・・」地元でIちゃんは、伝説のヒロインになりました。『自助・共助・公助』という言葉があります。「自助」とは、災害が発生したときに、まず自分自身の身の安全を守ること。この中には家族も含まれます。「共助」とは、地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこと。そして、区市町村や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助が「公助」です。災害が起きたときは、まずは「自助」です。まずは自分の命を守る!次に「共助」。高齢化が進む日本において中学生は貴重な戦力になります。

Iちゃんは、進路面接練習の時に、ボランティア活動が生徒主体で積極的に行われている都立淵江高校に推薦で進み、高校の指定校推薦を使って城西国際大学メディア学部に進学し、大学卒業後はアシスタントディレクター(AD)となりテレビ局で仕事をしたいと熱く語っていました。

まだまだ残暑厳しい暑い日が続きますが、今月は「前期期末考査」・「修学旅行」・「生徒会役員選挙」・「連合陸上大会」・「魚沼自然教室」と大きな行事が目白押しです。今年度のキーワードは、『自ら学び、やり通す!』です。早く生活のリズムを取り戻して、しっかりと9月をやり抜きましょう。

# 9月1日「防災の日」

〈 関東大震災から100年 〉

今年の夏は記録的な猛暑でしたが、2018年（平成30）7月23日に埼玉県・熊谷市と2020年（令和2）8月17日に静岡県・浜松市で記録された41.1℃は更新されませんでした。実は、今からちょうど100年前の9月に幻の日本最高気温46.4℃が観測されていたのです。

1923年（大正12）9月1日午前11時58分、伊豆大島付近、相模湾北西部の相模トラフ（細長い海底盆地）を震源とする海溝型大地震が発生した。マグニチュード7.9、最大震度7（推定）の大地震は関東地方を襲い、地震の発生時刻が昼食の時間帯と重なったことから、東京では150箇所以上から火災が起こった。折しも能登半島付近に位置していた台風により、関東地方全域では突風が吹き荒れており、火災旋風を引き起こしながら3日間に渡って燃え広がった。この地震による死者行方不明者は14万2807名であったが、地震が直接の原因と思われる死者は2千名ほどで、残りは火災によるものだった。このことから「地震だ、すぐ火を消せ！」が言われ始める。9月1日の「防災の日」は、この関東大震災を教訓として防災意識を高めるために、1960年（昭和35）に制定されたものである。また、この頃に台風の襲来が多くあることも制定の理由の一つである。制定前年9月には、死者不明者5千名を越す伊勢湾台風（最低気圧895hPa・上陸時929hPa）が襲来している。

ちなみに、1875年（明治8）6月から観測を続けてきた東京の中央气象台（気象庁の前身）の職員は、観測記録を途絶えさせてはいけないと地震発生以降も気象観測を命がけで続けていた。9月1日夜午後9時頃から異常な高温となり、翌9月2日未明には最高気温46.4℃を観測した。大火による高温なので非公認になるが、大震災の中でも観測を続けた气象台の職員の仕事に対する責任感・意識の高さには頭が下がる。なんと、その後引火して焼失してしまった气象台の本館の焼け跡から見つかった観測機材は、4023.8℃という世界最高気温を記録していた。

## 今後の予定

※今月はとても忙しい。「9月を制する者、2学期を制す!!」

- 9月 1日（金） 全校集会、専門委員会（前期最終）
- 4日（月） 中央議会
- 7日（木） 前期期末考査1日目（社会・理科・英語・保体）〈給食なし〉
- 8日（金） 前期期末考査2日目（国語・数学・技家・音楽）〈給食なし〉
- 11日（月） 3年：実力テスト
- 13日（水） 区小中研の日
- 15日（金） 3年：修学旅行事前指導
- 19日（火）～21日（木） 3年：修学旅行（奈良・京都）
- 22日（金） 役員選挙リハーサル
- 25日（月） 生徒会役員選挙
- 27日（水） 避難訓練
- 29日（金） 連合陸上大会（江戸川競技場）、1年：魚沼自然教室事前指導
- 30日（土）～10月2日（月） 1年：魚沼自然教室
- 10月 3日（火） 3年：進路説明会
- 3日（火）・4日（水） 1年：振替休日
- 6日（金） 前期終業式
- 10日（火） 後期始業式